

## ⑮ 鎌倉いずみ幼稚園1955(S30)～

鎌倉いずみ幼稚園は勝田浩・治子夫妻により材木座 3-3-7 に建てられた幼稚園である。浩の父は元文部大臣の勝田主計である。治子が幼稚園を作りたいと言い、ハリス記念鎌倉幼稚園の高田彰園長に相談に行った。

1955(S30)年に設置認可申請書を提出し、敷地 180 坪にある池の半分を埋め、松の木を伐採し園舎を建てた。個人立として認可を受け、園児 12 名で開園した。半分残った池から湧き水が出てくるので、聖書の「命の水の泉」より「鎌倉いずみ幼稚園」と命名した。申請当時の教職員外、「設置者勝田浩 園長高田彰 主事勝田治子 教諭村井佐知子 助教諭角田倫子 園医(歯科)高橋晃次郎 園医(内科)安保隆夫」となっている。

園児が増えたため、敷地を 200 坪に広げ増築、隣地購入のため借金もした。その返済のため園児を増や



第1回卒園式（1956年）

し、逗子方面からも園児を募集して車で送迎していた。園児数40名余りとなったが、理想の幼児教育から

離れていくと感じ、4年ほどでまた少数園児に戻し、母親たちの協力を得て落ち着いた日々を取り戻していった。バザー、クリスマスの行事には父兄、特に母親が協力参加してきた。1980年には給食制を開始する。

園の行事で特徴的なのは、年長組の2泊3日御代田キャンプである。1964(S39)年に理事長(勝田浩)が購入した300坪の土地に、園関係者ら有志10人が14坪の山荘を建て、年長組のキャンプをしたことに始まる。土地と山荘は、学校法人認可を受けた67年に園に寄贈された。翌年さらに600坪の土地を購



御代田山荘にて 勝田夫妻と園児（1966年）

入、70年にはバザーの収益で食堂と管理室を作り、71年には離れに日本間を作った。園児にと

っても教職員にとっても一大行事であり、勝田治子は「責任の重大さと苦労は並大抵のものではなく、多くの園長たちは、無茶な、無鉄砲な行為だと呆れているようですが17年間に17回のキャンプを大難なく無事に過ごせた事は、関係者の皆様の努力と神のご加護があってこそ、と深く深く感謝のほかありません」と、園の25周年記念誌の中で述べている。